



デジタル田園都市国家構想  
DIGIDEN

# 地域の実情に応じた 少子化対策の推進に関する 意見交換会

—令和5年度第1回—

2023年9月12日（火）14:00～16:00 Zoom



主催：内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局

委託事業事務局：PwCコンサルティング合同会社

# 1.本日の流れ

- 各登壇団体からの事例紹介の後、皆様から事前に頂いた質問を基に30分間のパネルディスカッションを予定

時間（目安）	内容	登壇者
14:00~14:05	1,開会挨拶（5分）	内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局
14:05~14:10	2,趣旨説明（5分）	PwCコンサルティング合同会社
14:10~14:40	3,事例紹介①「地域アプローチによる少子化対策の取組」 長野県上田市（30分）	長野県上田市
14:40~15:00	4,事例紹介②「デジタル技術を活用した少子化対策の取組」 広島県三原市（20分）	広島県三原市
15:00~15:20	5,事例紹介③「デジタル技術活用事業での自治体との連携について」 株式会社ファミワン（20分）	株式会社ファミワン
15:20~15:50	6,パネルディスカッション（30分）	PwCコンサルティング合同会社 長野県上田市 広島県三原市 株式会社ファミワン
15:50~15:55	7,案内・閉会挨拶（5分）	こども家庭庁 内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局

## 2.意見交換会の趣旨・目的

- 本意見交換会は、全国の地方公共団体に効果的な少子化対策の取組の裾野を広げていくため、少子化対策地域評価ツールを活用した「地域アプローチ」による少子化対策の進め方や、デジタル技術を活用した少子化対策事業の検討・具体化の進め方を広く情報共有することを目的に開催

### 「地域アプローチ」による少子化対策の普及

少子化対策地域評価ツールを活用した「地域アプローチ」による少子化対策の取組の進め方を知っていただくことデジタル技術を活用した少子化事業の検討・具体化の進め方を広く情報共有すること

### デジタル技術の具体的な活用方法の共有

デジタル技術を活用した少子化対策事業の検討・具体化の進め方を広く情報共有すること

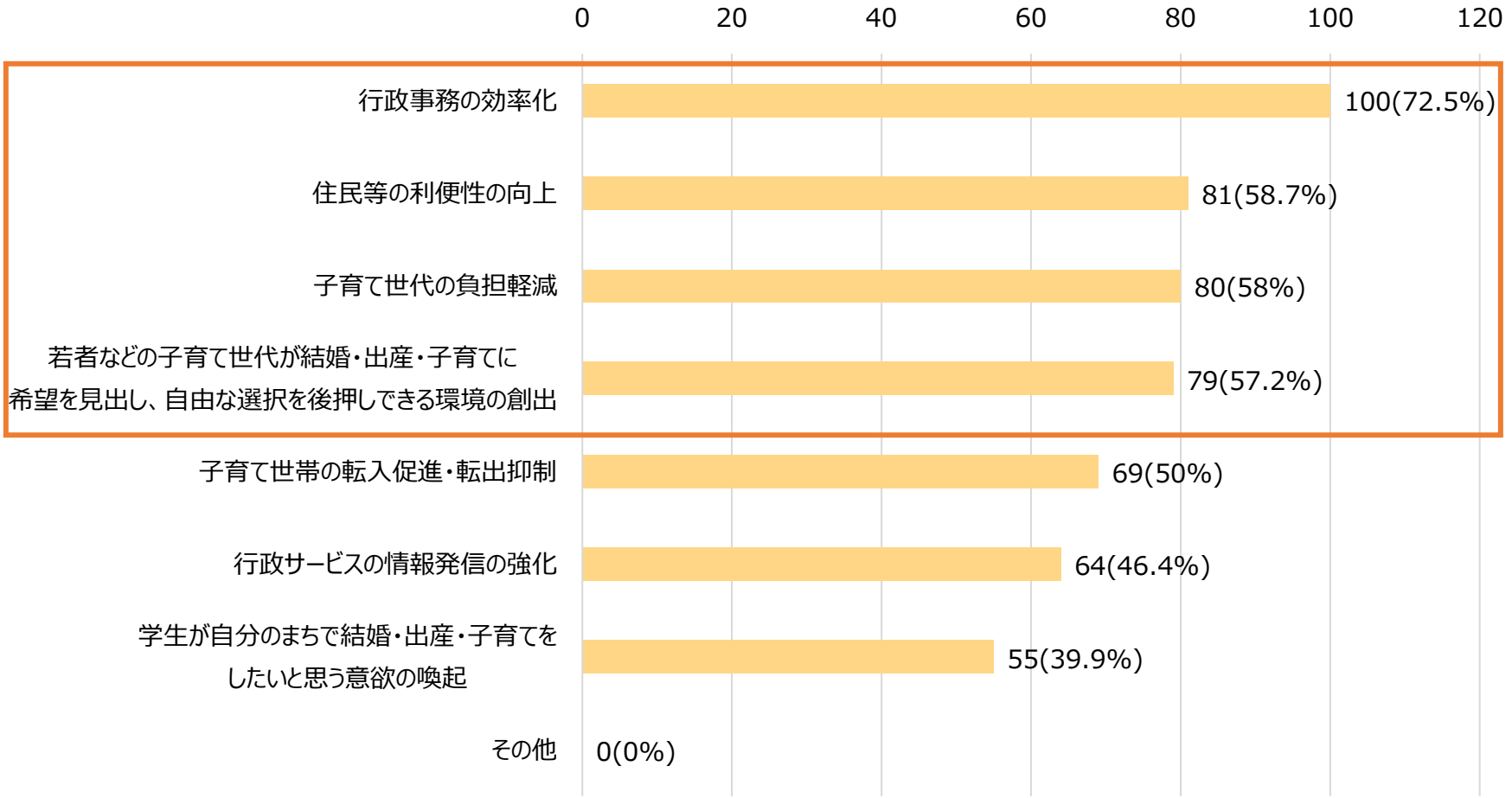
### 知見の共有

具体的な少子化対策の事例から、取組に至った経緯や生じた課題、解決策を知ること、ご自身の所属自治体での取組の参考としていただくこと

### 3.事前アンケート結果のご紹介

- デジタル技術の活用で期待する効果として、「行政事務の効率化」「子育て世代の負担軽減」「住民等の利便性の向上」「若者などの子育て世代が結婚・出産・子育てに希望を見出し、自由な選択を後押しできる環境の創出」への期待が高い

デジタル技術の活用で期待する効果



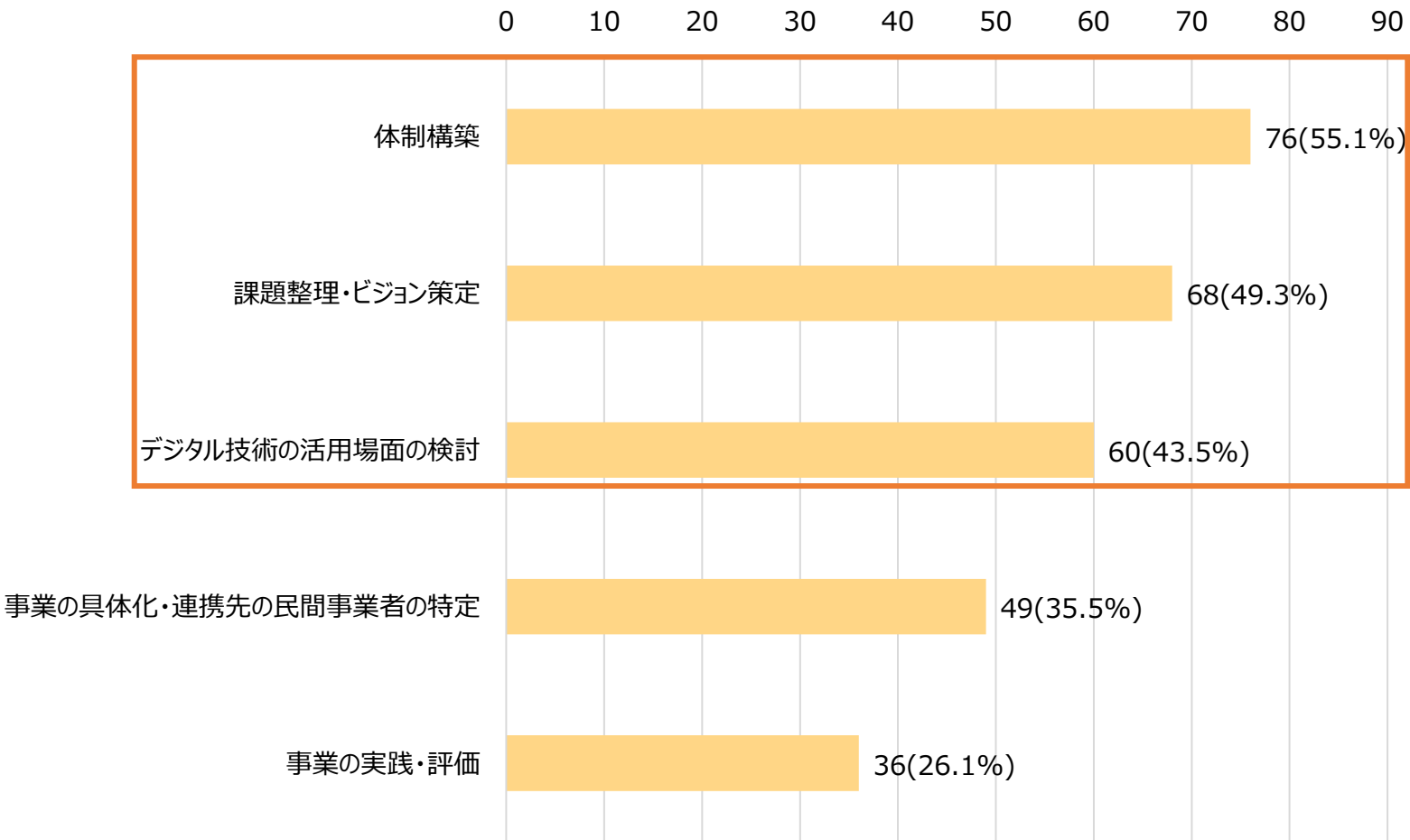
回答者数 = 138名

※複数選択（「その他」の選択の場合のみ自由記述）  
※2023年8月31日10時 時点

# 4.事前アンケート結果のご紹介

- 事業検討のプロセスのうち「体制構築」を課題として感じている自治体が最も多く、「課題整理・ビジョン策定」「デジタル技術の活用場面の検討」の領域での課題がそれに続く

事業検討のプロセスのうち、特に課題を感じている領域



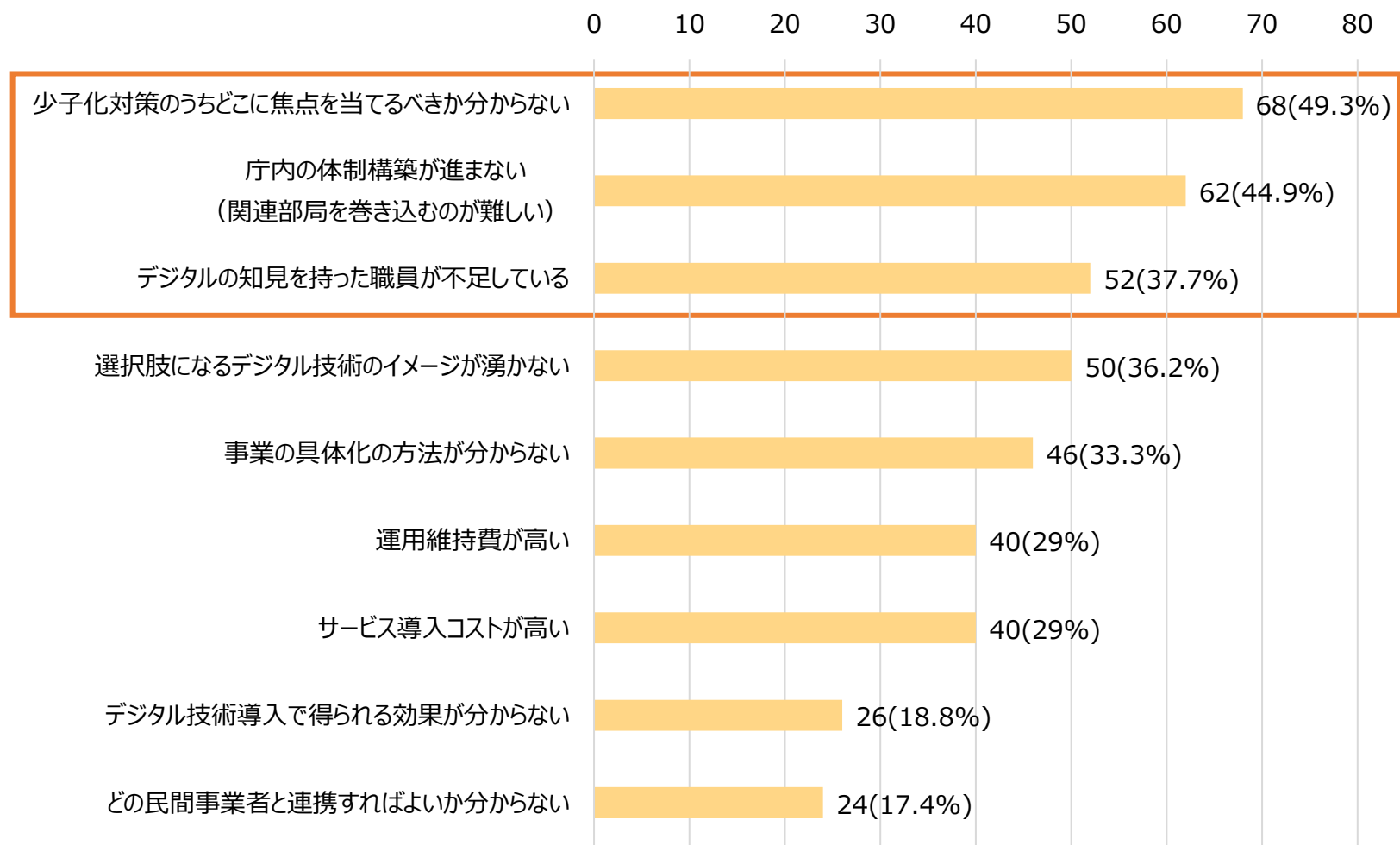
回答者数 = 138名

※複数選択  
※2023年8月31日10時 時点

# 5.事前アンケート結果のご紹介

- 少子化対策においてデジタル技術を活用するにあたり、「少子化対策のうちどこに焦点を当てるべきか分からない」「庁内の体制構築が進まない」「選択肢になるデジタル技術のイメージが湧かない」という点に難しさを感じている自治体が多い

少子化対策においてデジタル技術を活用するにあたり、難しさを感じている点



回答者数 = 138名

※複数選択  
※2023年8月31日10時 時点

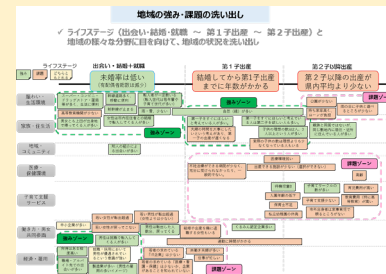
## 6.登壇者ご紹介

- 上田市様からは、データによる少子化要因の分析の進め方など、三原市様とファミワン様からは、実際にSNSによる女性の健康サポート事業の取組に至った経緯や、事業を進める上での課題や得られた知見を中心にお話いただく

### ①長野県上田市

昨年度の事業で「地域アプローチ」を活用した少子化対策の検討を実施。検討を通じて、部局横断的な組織を構築し、未婚率など統計的なデータを活用した客観的な指標による分析や、アンケート結果により、少子化対策の方向性を検討。

今回の意見交換会では、「地域アプローチ」の少子化対策に取り組んだ経緯や、その過程で得た気づき・課題などについて詳しくお話いただきます。



### ②広島県三原市

月経や妊活など、性別固有のライフサイクルや個人の希望の実現への障壁に対し、各個人が正しい知識を持てること、適切にサポートする環境整備が重要という認識から、民間事業者と連携してSNSによる女性の健康サポート事業を実施。更に、不妊だけでなく、月経やメンタル、育児など幅広い悩みに対応

今回の意見交換会では、SNSを活用した事業の具体化の経緯や庁内体制の構築について詳しくお話いただきます。



### ③株式会社ファミワン

「子どもを願うすべての人に寄り添い、幸せな人生を歩める社会をつくる」をビジョンに掲げ、こどもを望む人もそうでない人も「自分らしく」生きられるようサポートするために各種事業を展開。三原市とは令和3年度から連携して事業を展開しており、専門家チームが女性の健康についてのお悩みに寄り添い、アドバイスや情報提供をする「ファミワンLINE」サービスを展開。個人向けサービスの他、企業や、各自治体とも連携をし、妊活に取り組むすべての人を支援。

今回の意見交換会では、三原市と連携した経緯や他の自治体との連携についてお話いただきます。



その他、不妊治療経験者・助産師・キャリアカウンセラーなど